

空と緑 新、呼吸する

'94

3

No. 331

応報

たまかわ



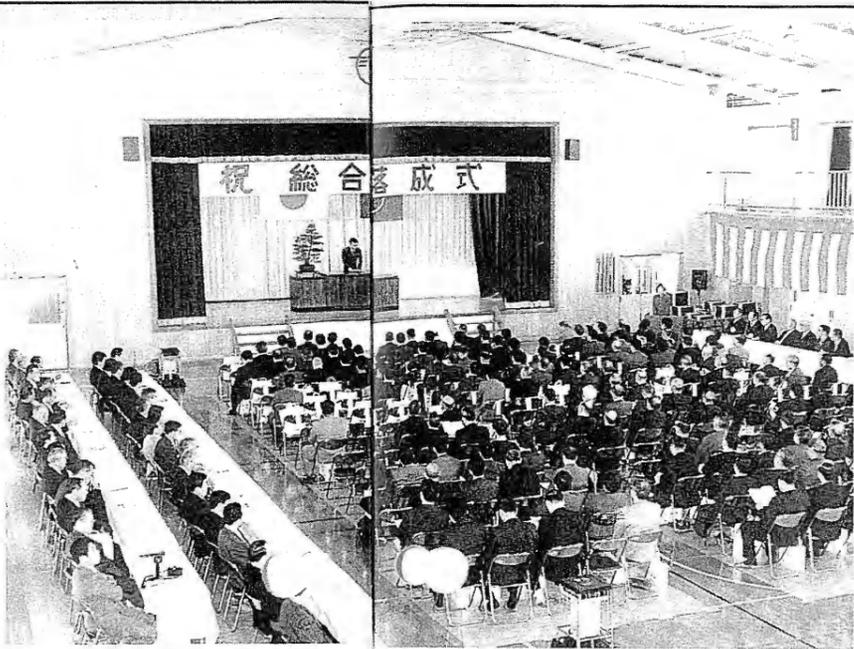
今日は楽しいひなまつりだゾ

3月3日 いずみ幼稚園ひなまつり会

みなさんのおかげで総合落成式

3月4日

平成6年3月4日(金)村体育館において玉川村建設事業総合落成式と功労者表彰が行われました。式は、佐久間村収入役が開会し、車田村長の式辞、塩田村議会議長のあいさつ、円谷村助役の経過報告の順で進められました。続いて、車田村長から、村政発展に尽くされた方々へ自治功労の表彰状が贈られ、また、昭和60年度から平成4年度までに村が行った建設事業等にご協力いただいた、建設業者や設計業者、用地にご協力いただいた地権者の方々へ感謝状が贈られました。その後、来賓の方々からお祝いのあいさつがあり、小林村教育長の閉会のことはで式を閉じました。昭和60年度から平成4年度までに村が行った主な建設事業は307件で、事業費は約85億3,000万円です。ご協力をいただいた方々に感謝申し上げ紹介させていただきます。(業者については会社名を記載。地権者については敬称略)



建設、設計などにご協力いただいた方々

- ※建設業者
 - (株)綜建 日計産商(株) (株)太陽興産 (株)福産建設 (資)城野組 東陽電気工事(株) 三金興業(株) 水谷工業(株) 太平電気(株)郡山支社 (株)トーカー 東北ポール(株)郡山営業所 日本鋼弦コンクリート(株) 三柏工業(株) 新協地水(株) イワキ (株)ニノテック 矢田工業(株) (株)志賀建設 日本水道(株) 仙台支店 (株)クボタ建設東北支店 (株)エディソン 高田工業(株) 鉄建設備工業(株) 村越建設(株) 日研設備(株) (株)白河電設(株) 渡辺組 東北設備工業(株) (株)ユアテック須賀川営業所 共栄建設(株) 日立電子(株)東北営業所 藤田建設工業(株)
- ※玉川村内建設業者
 - (株)鈴木建設 (株)熊田建設 (有)岩谷建設 (有)小林建設 (株)湯沢組 (有)円谷建設 (有)小山田産業開発
- ※公営住宅長内団地
 - (有)小林工務店
 - ※玉川村水道給水工事公認業者
 - 円谷電器商会 遠藤電気工事店 首藤電気店 添田電器商会 (有)岩谷工業 橋本鉄工所 塩沢設備工業所(有) (有)鈴木建設
 - ※設計業者
 - (株)日本技術ガイドセンター 東北測量(株) (株)山口建築設計事務所 (株)清水公夫研究所 (有)秀栄設計事務所 (有)車田建築設計事務所 (有)溝井宇一建築事務所 (有)昭和技術設計事務所 (有)福島県建設技術センター 福島県土地改良団体連合会 (株)共立水道コンサル

用地にご協力いただいた方々

- ※玉川村保健センター
 - 須釜義勝 添田清勝
- ※泉中学校
 - 小林浅二 小針常美 小針信作 小林浅廣 小針不二夫 小針周吉 小針守次 小針信一 増子キヨ 小針陸雄 小針要祐 小林浅太郎 吉田宇一 小針静男 小針薫 小針甲子男 首藤安子 永林恵治 小針保敏 首藤忠行 首藤武雄 小林浅光 小林朋喜 永林久徳 鈴木忠男 鈴木新六 永林誠 鈴木金吾 小針善雄 角田榮治 小針六郎(地権者会長) 小針信一(中財産区代表)
- ※須釜中学校

- 小原保良 小原義久 小原重孝 小原春雄 小原嗣男 小原ヨシ子 小原政徳 大越専 相樂幸子 相樂傳吉 相樂功男 小針好夫 國井清志

- 小山田喜美雄 大木彦一 大木カツミ 眞野目幸吉 眞野目義勝 小原春雄 國井清志 小原重孝

- 村越勝 村越明
- ※簡易水道
 - 塩澤政吉 草野繼男 石森清之 石森郷政
- ※須釜児童館
 - 小原辰美

自治功労者表彰 受賞者は15人

村政発展のため多年にわたって尽くされた方々が、村条例の表彰規定に基づいて功労者として表彰されました。(順不同)写真の下は実績です。



議員



議員



議員



議員



議員



農業委員



消防団長



消防団長



教育長



村職員



村職員



村職員



村職員



村職員

2月20日

福祉・健康

まつり

平成6年2月20日(日)玉川村体育館と保健センターで「福祉・健康まつり」が開かれました。このイベントは住民の健康に対する意識を高めることや福祉の充実を目的に玉川村と玉川村社会福祉協議会が主催。多彩な催しに多くの村民が訪れました。



これはいいねえー・福祉まつりから

安らかな暮らしは
万全の備えから

福祉まつりは、村体育館で行われ、病人や身障者用の特殊ベッドやエアーマット、紙オムツなどの介護用品や機器が展示されました。訪れた村民らは、係員の説明を聞きながら実際に介護用のベッドを使ったり、車いすやリフトなどを試乗。安らかな暮らしは、万全の備えからといった、自分のいざという時に備えている真剣な姿が感じられました。

また、会場では村老人クラブ連合会の会員が、各家庭にあった不用品を持ち寄ったのバザーも開かれ、あつという間に売り切れてしまう人気でした。

みんなでやろう

健康づくり

健康まつりは、保健センターで行われ、赤ちゃん写真コンテストの作品展や機能訓練を受けている人たちが作った皮細工の即売会、手づくりクッキーコーナーなどが設けられました。赤ちゃん写真コンテストの入選作品は左のページのとおりで、当日は国保健康家族とあわせてコンテストの表彰式も行



熱心に聞き入る聴衆・記念講演会から

国保健康家族

- 須藤 寛一(川辺)
- 車田 英治(小高)
- 車田 敬次郎(〃)
- 佐藤 忠一(〃)
- 溝井 忠吉(〃)
- 吉田 良知(岩法寺)
- 小林 光好(竜崎)
- 小山田 武雄(南須釜)



(佳作) ①曲山幸子 ②大介



(佳作) ①須藤一郎 ②千晶



(佳作) ①阿部政弘 ②弘奈

赤ちゃん写真コンテスト

入選写真

①撮った人 ②写っている子ども (敬称略)



(グランプリ) ①須藤祐良 ②貴弘



(準グランプリ) ①小林のり子 ②智里



(佳作) ①野崎桂子 ②夏美



(佳作) ①遠藤昇一 ②瞭



(佳作) ①馬場佳子 ②千熙



(佳作) ①大和田 宏 ②賢治



(佳作) ①戸賀ひとみ ②慎也



(佳作) ①真野目晴美 ②悠大・翔悟



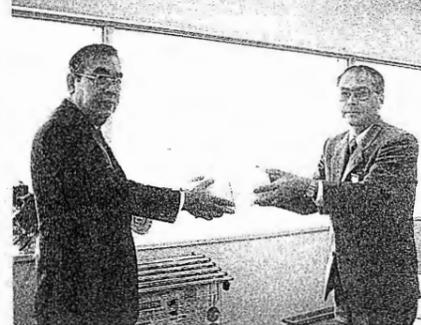
(佳作) ①小山田 弘 ②智絵

たまかわトピックス

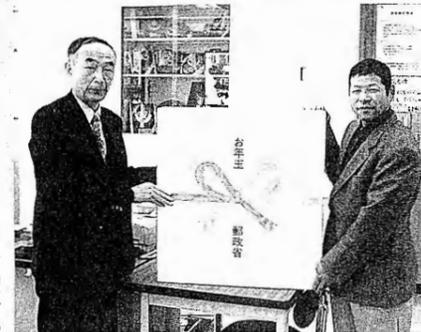
一みなさんからの話題をおまちしていますー
役場企画調整課
広報係まで

3人に幸福のハガキが届きました

～お年玉年賀ハガキで2等賞～



安積玉川郵便局長から賞品を受け取る秋山さん



塩浜須釜郵便局長から賞品を受け取る榎枝さん

村からお年玉つき年賀ハガキの2等賞が3本出ました。
幸運を射止めたのは、福島空港ビル(株)代表取締役副社長の秋山慶治さんと川辺の円谷春子さん、それに北須釜の榎枝義二さんの3人です。
2等の賞品はそれぞれの希望に応じて、秋山さんにはラベルプリンター、円谷さんにはコンパクトカメラが玉川郵便局から交付され、また、榎枝さんにはパーペキューセツトが須釜郵便局から交付されました。
春に舞い込んだ福の神、お三人の今年の運勢は、きっと…。

盤上の熱戦！ ～第31回玉川村民囲碁将棋大会～

玉川村公民館が主催した第31回村民囲碁将棋大会が村就業改善センターで行われました。

大会には小学生からお年寄りまでの愛好者が参加し、盤上で熱戦を展開。主な入賞者は次のとおりです。

また、大会に使って下さいと大木実さん(中)から立派な碁盤の寄付がありました。ありがとうございました。

	級	優勝	2位	3位
碁	A	首藤 三千雄	小針 悟	菅野 富博
	B	阿部 孝	斧田 好武	三吉 隆之
	C	川田 崇裕	塩沢 美保	杉田 一馬
将棋	A	双里 正輝	双里 政博	高原 泰司
	B	添田 良昭	須藤 光久	吉田 徳次
	C	小針 佑輝	吉田 絢也	

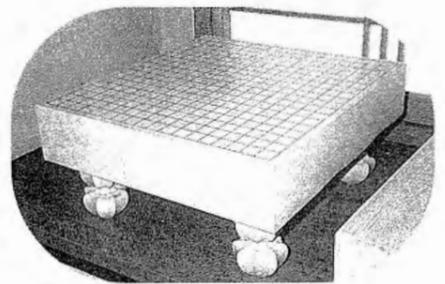


鈴木悟くん(玉一小6年生)が見事銀賞

「川をきれいにする児童図画」の表彰式が福島市の杉妻会館で行われ、鈴木悟くん(玉川第一小学校6年生)に東北地方建設局福島工事事務所長から銀賞の表彰状と記念品が贈られました。
図画は、川に対する意識を高めるために阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会が募集したものです。



大木 実(中)



寄付された碁盤



気をつけましょう 悪質商法

村公民館が主催する夏椿・こぶし学級では、福島県くらしのアドバイザーの猪俣誠子さんを講師にむかえて「悪質商法」についての講座が開かれました。
お年寄りにとっても身近な問題だけに、学級生からは被害に遭った体験談も披露されるなど、活発な講座となったようです。
家にいることが多いお年寄りの方々は、特に気をつけたいですね。

3Fデー作文の部で大賞に輝く



上野 春江さん

3Fデーの作文の部で上野春江さん(泉中3年生)が県内で一人だけ選ばれる大賞に輝きました。おばあちゃんとの温かいふれ合いを書いた作文を紹介します。

「春江、今日も練習か。」と、曾祖母が私に聞きます。「おばあちゃん、今日は第二土曜日だから練習はなし。だから、応援できるからがんばってよ。」
私は、曾祖母に元氣よく答えました。そのときのうれしそうな曾祖母の顔。私は、中体連を終えると、今度は駅伝部員として、朝と放課後、きつい練習が毎日毎日あるのです。
練習を終え、家路へむかう途中に、ゲートボール場があります。私は、そこに近づくと

いつも自転車を降り、曾祖母を捜します。八十歳を越しているのに曾祖母は、元氣よく、歩き回り、他の人とボールを打ち合っています。私の見ているのに気がつく、右手を高くあげてくれます。私も「がんばってね、おばあちゃん。」と大声で叫び、手をふります。もうこれが、毎日の日課の一つになっていきます。

曾祖母は練習熱心で、庭先でよくスティックとボールで練習しています。この前、私は曾祖母がいつも楽しそうにやっているのを見て、「おばあちゃん、私にもやらせてみて。」とたのみ、やってみました。見ていると誰でも簡単なように思うでしょう。ボールを打って、転がすだけ、それだけのことだと思っていたのに、全然違うのです。どの程度の強さで打てばいいのか。どのあたりに転がせばいいのか。全く私にはわからないのです。曾祖母が一生懸命教えてくれるのですが、どうもその通りにボールは転がらないのです。誰もがができる簡単なスポーツと思っていた私は

曾祖母の技術に、「すごいなあ。」

と言わずにはいられません。そして、曾祖母が、ゲートボールにどんな心がかかっているのかわかりました。思うようにボールが打てたときの快感が何とも言えないのではないのでしょうか。私が、バスケットでうまくシュートできたときのあのうれしさと同じに違うのです。

その曾祖母たちの試合が、第二土曜日、行われることになり、曾祖母は、私をさそったのでした。
ゲートボール場へは、曾祖母も自転車で行きます。私は曾祖母の後を自転車走らせました。曾祖母の後ろ姿が八十二歳とは思えないほど、背筋がピンとはっているのです。びっくりしてしまいました。

曾祖母は、チームの中では高齢者の方に属しています。が、動きと技術の面では、トップクラスのようです。この日、曾祖母のチームは第二位となりました。父や母、祖父、祖母もこの日の応援に来て何年ぶりかで、一家そろって応援できました。

「春江たちのおかげで勝てたよ。」

うれしそうに言う曾祖母。第二土曜日は、かならず晴れてほしいと願うようになりました。雨のときの曾祖母の顔をみるのがつらいのです。曾祖母は、毎日、テレビの天気予報を欠かさず見ます。そして、次の日の準備をします。

私はゲートボールをやっている曾祖母達が大好きです。いくら年をとってもやっぱりスポーツマンなのです。明るいし、生き生きしているからです。
テレビの前にくぎづけの老人たちにはないパワーが感じられます。
「おばあちゃん、動けなくなったら、私が車いすでおしてやるからゲートボールをやってね。」
そういうと曾祖母は、「春江がそうやってくれるなら、やるよ。」
と言う答えが返ってきました。

第二土曜日のゲートボールは、私にとっても楽しみなものとなりました。



思い出のアルバム⑨

「念仏踊りが復興したころ」

江戸時代から現在に伝わる玉川村の伝統芸能「南須釜の念仏踊り」ですが、大正時代に一時中断し昭和27年に復興したといわれています。

この写真は、その当時の昭和27年3月28日に撮られたものです。写真を提供してくれた小原菊子さん(南須釜の記憶によると踊りは、この写真よりも2年くらい前から練習していたそうです。

「踊りの練習は世話人宅を順番に回り、夜遅くまでやったので、親がちょうちんをもつて送迎してくれました。それに、お年寄りの方が熱心に教えてくれたので私たちも一生懸命でした。特に大野ケサさん(写真の前から2列右から4番目)は印象深いです。」と菊子さん。郡山市公会堂や仙台でも披露したとの事です。

笠に花の飾りがつけられるようになったのは、広川弘禅先生の親が亡くなった時の献花をもたせてつけたのが始まりだそうです。素晴らしい伝統は、やはり多くの人たちによって支えられているのです。

たまかわの皆さん お元気ですか

—東京玉川会員日より—

「初めての総会にて」

神奈川県川崎市 飯島君子さん(南須釜出身)



一晩中降り続いた雨も夜明けとともに止み、私たちの再会をのぞくようにお日様が顔を出しました。私が、昨年5月23日に初めて東京玉川会総会に出席させていただいた朝の様子です。

総会の初めのころは少し戸惑いましたが、車田村長さんや有志の方々のお骨折りに感謝したいと思えました。また、会的目的でもある親睦を深めてまいりたいと考えました。

総会が終了してからは、出席者の中に知人や親せきの方々がいたので自然に打ち解け、また、思いがけず弟が来ていたので、田舎をそっと移動したような気持ちで昔話に花が咲きました。また、私が勤めていたころの生

徒が3・4人出席していて、卒業以来45年ぶりに再会できました。幼き頃の姿が走馬灯のごとく浮かび、懐かしさとうれしさで胸がいっぱいになり、いつまでも尽きることはない会話に素晴らしい時間を過ごせました。

お楽しみの抽せん会では、くじ運がないかと思っていた私に「ポット」が当たり、楽しい時間を過ごせた上に、商品までもらえた最高の一日と喜びました。

今でも、お茶を飲むたびに総会での感動を思い出します。本当にありがとうございました。また次回も大勢の方々で再会できます事を楽しみに、お待ちしております。(写真は帰郷の折、白河城にて)